

◆ 6月号の予定 ◆

特集 「令和6年全国家計構造調査の意義と役割」

「全国家計構造調査」は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする調査であり、5年ごとに実施している。本特集では、令和6年調査の実施内容に加え、その調査結果を用いた分析事例などについて解説する。

論考・論文

- ・令和6年全国家計構造調査の実施に向けて
- ・全国家計構造調査から見たわが国の消費支出の実態について
- ・小地域推定を用いて部分母集団の特性を知る
- ・高齢期の消費構造と収入・貯蓄の変化について

寄稿

- ・調査統計の未来へ（8）
- ・日本の都市化と市町村合併－1920年国勢調査後100年間の都市人口の動向－

統計ウォッチング

- ・デジタル化に伴う産業分類と生産統計に与える影響

統計寸評

- ・知的好奇心をおおいにくすぐる、公的統計公表データ分析のススメ

データサイエンス系学部を訪ねて

- ・兵庫県立大学 社会情報科学部

連載

- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線（17）

様々な統計データをGIS（地理情報システム）で地図上に可視化し考察する授業

統計利活用コーナー

- ・統計データ分析コンペティション2023受賞論文 大学生・一般の部 統計活用奨励賞

英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・Philipp Otto, Philipp Otto 著 “What’s in a name” 抄訳と解説

書評

- ・阿部 修人 著『物価指数概論－指数・集計理論への招待－』

◎「特集」のテーマ（2023年12月号～2024年11月号）

2023年12月号 — 統計的方法の適用に関する国際標準化

2024年1月号 — EBPMと統計

2月号 — クラウドファンディングの発展:現状と課題

3月号 — ビッグデータの有効活用に向けて

4月号 — 高等学校情報科教育導入のもたらすもの

5月号 — 日本経済のデジタル化

6月号 — 令和6年全国家計構造調査の意義と役割

7月号 — エネルギー需給の動向と展望

8月号 — 外国人労働者に選ばれる国になるには

9月号 — 統計データ分析コンペティションを振り返る

10月号 — 賃金の上昇トレンドは続くのか

11月号 — 計量心理学・行動計量学系の調査論と分析

(注)「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

◎連載

- ・国際統計制度とは何か

…2021年1月号から隔月連載

- ・公的統計の利活用推進と21世紀の統計行政

…2022年2月号から隔月

2023年2月号まで連載

- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線

…2021年7月号～毎月12月号まで
2023年1月号～毎月2023年7月号まで

2024年3月号～毎月連載

- ・2025 SNAの最前線

…2023年4月号～2024年2月号まで隔月連載